北見工業大学 新型コロナウイルス感染者発生時の対処要綱

令和2年9月29日

北見工業大学新型コロナウイルス感染症対策会議

本学関係者(学生、教職員等)において、新型コロナウイルスに感染したことが判明した 場合等は、原則として、次の「基本的対応」に基づいて対応することとする。

これに拠り難い場合は、「その他特殊なケースにおける留意事項」を参考に、適宜適切に 対応する。この場合、必要に応じて「北見工業大学新型コロナウイルス感染症対策会議」の 指示を仰ぐ。

1. 基本的対応

(1)検体採取前であって、発熱、体調不良等の症状がある場合、別紙対応フロー等に従い、適切に対応する。

学生の場合;別紙1

教職員の場合;別紙2及び別紙3 共通〔相談・受診の目安〕;別紙4

※検体未採取の場合の個別ケース

- a) 症状があり自ら受診
- b) 別の感染者との濃厚接触
 - ·PCR 検査を要するが、未だ実施していないケース
 - ・保健所の判断で PCR 検査は実施しないケース

感染疑い(リスク中)

- ・健康監視(自宅待機等)
- (2) 感染が強く疑われる場合
 - ①次の何れかの時点において本人から大学に報告する。 第1報
 - a) 北見市 PCR センターへの受診(検体採取)指示を受けた時
 - b) 検体を採取された時

〈報告先〉

教員;学科事務担当

技術部・事務局職員;担当部署

学生;学務課(留学生;国際交流センター)

- ②第1報を受けた際、検査結果が「陽性」となった場合に備えて、本人に対して次の 対応を要請する。
 - a) 行動履歴の**事前作成・提出**を依頼する。ただし、詳細なものがすぐに作成できない場合は、粗い行動履歴を聴取するとともに、**詳細版の後日の提出**を依頼する。
 - b) 個人情報(公表内容〔年代、性別、居住地、業種、症状等〕) の扱いに関する 事前同意を得る。
- ③本要請に先立って「事前訓練」を実施し、「予めの行動履歴の作成・提出」及び「公表内容の事前同意」について理解を得る。

感染疑い (リスク高)

- ・検査結果が出るまで健康監視(自宅待機等)
- (3)検査結果が告知された後、速やかに本人から大学に検査結果を報告する。 第2報
 - ①「陽性」の場合
 - i)事前提出された行動履歴(未提出の場合、本人から聞き取り調査)とともに、個人情報(公表内容〔事前同意を得たものに加え「検査確定日」〕)について再確認する。
 - ii)必要に応じて感染エリアの消毒、施設封鎖等の措置を取る。(別紙5)
 - iii)感染者発生について、北見市、文科省に報告(非公表)する。
 - iv) 感染者発生について、ホームページへの掲載、プレスリリース等を通して公表する。(別紙6)

〔本人〕検査感染(症状の有無に関わらない)

・入院等、保健所の指示に従う

〔濃厚接触者〕濃厚接触(リスク高)

- ・リスク高の濃厚接触として、症状の有無に関わらず、規定に従い対応
- ・PCR 検査の対象者は、PCR 実施の規定に従い対応

【参考】

〈保健所の対応〉

※1:検査結果が「陽性」の場合、保健所から本人に告知

※2:保健所と本人(感染者)間で、聞き取り聴取(事前作成した行動履歴があればそれを提出)、及び公表内容(個人情報)について確認

※3:保健所から大学に対して、「積極的疫学調査」の協力依頼

- ②「陰性」の場合
 - ○「陰性」の判定であっても偽陰性の可能性があり、「疑い患者」として健康監視 措置を取る。

感染疑い

(リスク高~最高)

- ・症状に応じて PCR 検査
- ・検査結果が出るまで健康監視(自宅待機等)

(リスク低~中)

- ·一定期間健康監視(自宅待機等)
- 2. その他特殊なケースにおける対応
- (1) 学内関係者(学生、教職員等(以下同じ)) が濃厚接触者であることが判明した場合
 - ○行動履歴の事前作成、個人情報(公表内容)の扱いに関する事前同意
 - ○そのほか、「1. 基本的対応」の「(3)」中、「① 『陽性』の場合」の「濃厚接触」と 同
 - ○別紙3 (疑い患者の濃厚接触者) 参照
- (2) 学内関係者が発症し、学内に接触者が多い場合
 - ○行動履歴の事前作成、個人情報(公表内容)の扱いに関する事前同意
 - ○そのほか、「1. 基本的対応 | の「(1) | と同
 - ○別紙3 (疑い患者の濃厚接触者)参照
- (3)「飲み会」による教員の複数名感染が発生した場合
 - ○行動履歴の聴取、及び個人情報(公表内容)の扱いに関する同意
 - ○そのほか、「1. 基本的対応」の「(3)」中、「①『陽性』の場合」と同
 - ○一定数以上規模の「飲み会」等イベントの自粛要請
- (4) 重症化しており、第1報後に連絡が途絶した場合(学内での訪問先不明)
 - ○第1報時に依頼した行動履歴が予め提出されていれば、それを基に保健所と情報共 有を図り、対応について連携・調整
 - ○未提出の場合、対応について保健所と協議
 - ○学内訪問先の調査(学内関係者への情報提供依頼)

- (5) 重症化しており、そもそも本人から第1報が入らない場合
 - ○保健所からの「積極的疫学調査」の協力依頼により情報入手・対応
- (6)接触者調査に協力が得られない場合
 - ○必要性について辛抱強く説明 (特に学生の場合、指導教員等からの協力要請が効果的か)
 - ○「事前訓練」において理解促進
- (7) 出入り業者が発症した場合
 - ○感染者(出入り業者)と接触した学内関係者の調査
 - ○接触者について「1. 基本的対応」の「(1)」と同
- (8) 出入り業者とのコンタクトが多い学内関係者が発症した場合
 - ○行動履歴の聴取、及び個人情報(公表内容)の扱いに関する同意
 - ○そのほか、「1. 基本的対応」の「(3)」中、「①『陽性』の場合」と同
 - ○出入り業者から感染した可能性がある場合、他の学内関係者への感染について調査

学生の新型コロナウイルスの対応について

※以下の学生は、必ず次の手続きを行ってください。

発熱(37.5 度以上)や呼吸器症状がある学生

海外から帰国した学生



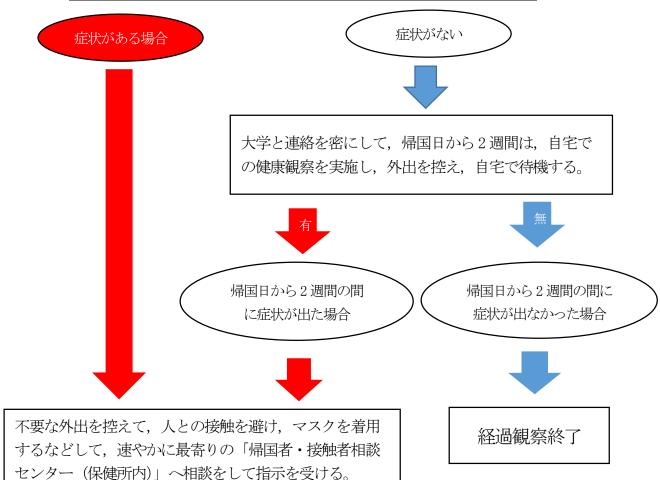


大学に電話連絡をして指示を受けてください。

学 生:学務課(0157-26-9183)

留学生:国際交流センター(0157-26-9370)

上記の学生には、以下のフローでの行動をお願いすることになります。



体調不良者発生時の対応フロー

教職員の風邪や発熱等に伴う療養時の対応

風邪や発熱等の軽い症状が出た教職員(体調不良者)

所属部署(教員は学科事務担当)に連絡

所属部署または学科事務の担当者は症状を聴取の上調査票(所定様式)を作成し保健管理センターにメールで提出(総務課職員担当にCCで送信)。

件名は「【新コロナ】体調不良者発生届」等とする。

自宅療養

厚生労働省の「新型コロナウィルス感染症についての相談・受診の目安」の「2. 帰国者・接触者相談センター等に御相談いただく目安」に従い相談・受診

状況を所属部署(教員は学科事務担当)へ連絡 (所属部署または学科事務の担当者は状況を保 健管理センターにメールで報告・総務課職員担 当にCCで送信)

症状軽快

状況を所属部署(教員は学科事務担当)へ連絡

(所属部署または学科事務の担当者は状況を保健管理センターにメールで報告・総務課職員担当にCCで送信)

2日後

職場復帰

特別休暇の申請(事後)

※帰国者・接触者相談センターへの 相談日以降は病休等

「帰国者・接触者相談センター」

北見保健所(北見市、美幌町、津別町、訓子府町、置戸町にお住まいの方) 電話 0157-24-4171

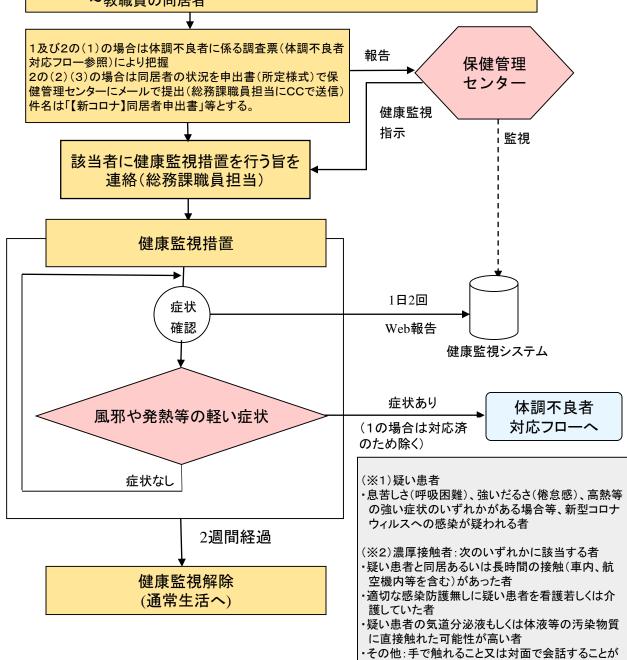
(その他の地域にお住まいの方は、地域の保健所へ)

報告 保健管理センター 確定診断情報・ 医師指示等

報告

体調不良者・疑い患者の濃厚接触者 健康監視対応フロー(教職員用)

- 1. 風邪や発熱等の軽い症状が出た教職員(体調不良者)
- 2. 疑い患者(※1)の濃厚接触者(※2)
 - (1)疑い患者が教職員の場合
 - ~教職員の同居者や職場内で近接する教職員
 - (2)疑い患者が教職員の同居者の場合
 - ~教職員
 - (3) 疑い患者が教職員の同居者の職場等で近接する者
 - ~教職員の同居者



可能な距離(目安として2メートル)で、必要な感染

予防策なしで疑い患者と接触した者

新型コロナウイルス感染症についての相談・受診の目安 別紙 4

1. 相談・受診の前に心がけていただきたいこと

- 発熱等の風邪症状が見られるときは、学校や会社を休み外出を控える。
- 発熱等の風邪症状が見られたら、毎日、体温を測定して記録しておく。
- 基礎疾患(持病)をお持ちの方で症状に変化がある方、新型コロナウイルス感染 症以外の病気が心配な方は、まずは、かかりつけ医等に電話で御相談ください。

2. 帰国者・接触者相談センター等に御相談いただく目安

- <u>少なくとも以下のいずれかに該当する場合には、すぐに</u>御相談ください。(<u>これ</u>らに該当しない場合の相談も可能です。)
 - ☆ 息苦しさ (呼吸困難)、強いだるさ (倦怠感)、高熱等の強い症状のいずれかがある場合
 - ☆ <u>重症化しやすい方</u> (※) で、発熱や咳などの<u>比較的軽い風邪の症状</u>がある場合
 - (※) 高齢者、糖尿病、心不全、呼吸器疾患(COPD等)等の基礎疾患がある方や透析を受けている方、免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている方
 - ☆ 上記以外の方で発熱や咳など比較的軽い風邪の症状が続く場合
- (症状が4日以上続く場合は必ずご相談ください。症状には個人差がありますので、強い症状と思う場合にはすぐに相談してください。解熱剤などを飲み続けなければならない方も同様です。)
- 相談は、帰国者・接触者相談センター(地域により名称が異なることがあります。)の他、地域によっては、医師会や診療所等で相談を受け付けている場合もあるので、ご活用ください。

(妊婦の方へ)

妊婦の方については、念のため、重症化しやすい方と同様に、早めに帰国者・接触者相談センター等に御相談ください。

(お子様をお持ちの方へ)

小児については、小児科医による診察が望ましく、帰国者・接触者相談センター やかかりつけ小児医療機関に電話などで御相談ください。

※なお、この目安は、国民のみなさまが、相談・受診する目安です。これまで通り、検査については医師が個別に判断します。

3. 医療機関にかかるときのお願い

- 複数の医療機関を受診することにより感染を拡大した例がありますので、複数の 医療機関を受診することはお控えください。
- 医療機関を受診する際にはマスクを着用するほか、手洗いや咳エチケット(咳やくしゃみをする際に、マスクやティッシュ、ハンカチ、袖・肘の内側などを使って、口や鼻をおさえる)の徹底をお願いします。

北見工業大学 新型コロナウイルス感染者等発生時の対処要綱(2020.04.27)

対象者: 学生(症状に応じた経過観察、自宅待機などは当該対応フローに従う)

症状、状況	学年、所属	対象人数、発生状況等	大学施設への消毒処置	大学施設封鎖等措置(措置段階を判断し対応)	備考
体調不良、	全学生	問わず	なし	Stage1:警戒段階→封鎖措置なし	
疑い症例					
感染者への	全学生	北見市在住	濃厚接触者の学内における動	Stage 2:封じ込め努力段階→封鎖措置なし	
濃厚接触			線を確認し、該当施設を消毒		
感 染	1~3年次	1名以上:北見市以外に	なし	Stage 1:警戒段階→封鎖措置なし	北見外自宅受講生
		在住			
		1名以上:北見市在住/発	なし	Stage 2:封じ込め努力段階→封鎖措置なし	北見自宅受講生
		症前後構内立入り歴無し			
		1名以上:北見市在住/構	感染者の学内における動線を	Stage 2:封じ込め努力段階→	北見自宅受講生
		内立入り歴有り(講義室	確認し、該当施設を消毒	当該施設(講義棟など)封鎖(2週間)	大学構内受講生
		など)		オンライン講義受講のための学生の構内出入り禁止	
		数名程度の患者集団発生	感染者の学内における動線を	Stage 2:封じ込め努力段階→当該施設封鎖(2週間)	
			確認し、該当施設を消毒		人数、感染経路の追
		感染経路不明患者発生・	感染者の学内における動線を	Stage 3:封鎖準備段階→当該施設封鎖 (2週間)	跡確認状況によっ
		監視対象者増大	確認し、該当施設及びその周辺	キャンパスへの入構制限	て措置段階 UP
			を重点的に消毒		
	4年次以上	1名以上(研究室)	感染者の学内における動線を	Stage 2:封じ込め努力段階→	
	(研究室所属)		確認し、該当施設を消毒	研究室封鎖、当該施設の封鎖 (2週間)	
		数名程度の患者集団発生	感染者の学内における動線を	Stage 2:封じ込め努力段階→	
			確認し、該当施設を消毒	研究室封鎖、当該施設の封鎖(2週間)	人数、感染経路の追
		感染経路不明患者発生・	感染者の学内における動線を	Stage 3:封鎖準備段階→	跡確認状況によっ
		監視対象者増大	確認し、該当施設及びその周辺	研究室封鎖、当該施設の封鎖 (2週間)	て措置段階 UP
			を重点的に消毒	キャンパスへの入構制限	

^{*}施設封鎖等の措置が発生した場合の業務・教育研究活動などは北見工業大学 BCP に従う。

【Stage 1:警戒段階、Stage 2:封じ込め努力段階、Stage 3:封鎖準備段階、Stage 4:封鎖段階】

^{*}大学施設封鎖等措置欄:措置段階は、学長、執行部、対策会議による情勢判断(人数、感染経路の追跡確認状況など)により決定。

北見工業大学 新型コロナウイルス感染者等発生時の対処要綱(2020.04.27)

対象者: 教職員(症状に応じた経過観察、自宅待機などは当該対応フローに従う)

症状、状況	所属	対象人数、発生状況等	大学施設への消毒処置	大学施設封鎖等措置(措置段階を判断し対応)	備考
体調不良、	全大学関係者	問わず	なし	Stage1:警戒段階→封鎖措置なし	
疑い症例					
感染者への	全大学関係者	問わず	濃厚接触者の学内における	Stage2:封じ込め努力段階→封鎖措置なし	
濃厚接触			動線を確認し、該当施設を消		
			毒		
感 染	技術部•事務局	1名以上(各部署、各事務	感染者の学内における動線	Stage2:封じ込め努力段階→	
	職員	棟)	を確認し、該当施設を消毒	各部署封鎖、各部署設置事務棟の封鎖(2週間)	
		数名程度の患者集団発生	感染者の学内における動線	Stage2:封じ込め努力段階→当該施設封鎖(2週間)	
			を確認し、該当施設を消毒		人数、感染経路の追
		感染経路不明患者発生•	感染者の学内における動線	Stage3:封鎖準備段階→当該施設封鎖(2週間)	跡確認状況によって
		監視対象者増大	を確認し、該当施設及びその	キャンパスへの入構制限	措置段階 UP
			周辺を重点的に消毒		
	教員	1名以上(教員室、研究	感染者の学内における動線	Stage2:封じ込め努力段階→	
		室)	を確認し、該当施設を消毒	教員室・研究室封鎖、当該施設の封鎖(2週間)	
		数名程度の患者集団発生	感染者の学内における動線	Stage2:封じ込め努力段階→	
			を確認し、該当施設を消毒	教員室・研究室封鎖、当該施設の封鎖(2週間)	人数、感染経路の追
		感染経路不明患者発生 •	感染者の学内における動線	Stage3:封鎖準備段階→	跡確認状況によって
		監視対象者増大	を確認し、該当施設及びその	教員室・研究室封鎖、当該施設の封鎖(2週間)	措置段階 UP
			周辺を重点的に消毒	キャンパスへの入構制限	

^{*}施設封鎖等の措置が発生した場合の業務・教育研究活動などは北見工業大学 BCP に従う。

【Stage 1:警戒段階、Stage 2:封じ込め努力段階、Stage 3:封鎖準備段階、Stage 4:封鎖段階】

^{*}大学施設封鎖等措置欄:措置段階は、学長、執行部、対策会議による情勢判断(人数、感染経路の追跡確認状況など)により決定。

北見工業大学 新型コロナウイルス感染者等発生時の対処要綱(2020.04.27)

対象者:大学関係者(生協職員・警備員・清掃員・ボイラー員)(症状に応じた経過観察、自宅待機などは当該対応フローに従う)

症状、状況	所属	対象人数、発生状況等	大学施設への消毒処置	大学施設封鎖等措置(措置段階を判断し対応)	備考
体調不良、	全大学関係者	問わず	なし	Stage1:警戒段階→封鎖措置なし	
疑い症例					
感染者への	全大学関係者	問わず	濃厚接触者の学内における	Stage2:封じ込め努力段階→封鎖措置なし	
濃厚接触			動線を確認し、該当施設を消		
			毒		
感 染	生協職員	1名以上	感染者の学内における動線	Stage2:封じ込め努力段階→	
			を確認し、該当施設を消毒	生協封鎖(2週間)、生協利用者の自宅待機(2週間)	
	警備員	1名以上	感染者の学内における動線	Stage2:封じ込め努力段階→	勤務時間内の鍵の
			を確認し、該当施設を消毒	守衛室封鎖(2週間)、守衛員の自宅待機を要請する	開閉は施設課にて
				が業務委託会社の判断とする	対応
	清掃員	1名以上	感染者の学内における動線	Stage2:封じ込め努力段階→	汚損部分のみスポ
			を確認し、該当施設を消毒	清掃員控室封鎖(2週間)、守衛員の自宅待機を要請	ット契約にて対応
				するが業務委託会社の判断とする	
	ボイラー員	1名以上	感染者の学内における動線	Stage2:封じ込め努力段階→	ボイラー業務代行
			を確認し、該当施設を消毒	ボイラー室封鎖(2週間)、ボイラー員の自宅待機を要	手配
				請するが業務委託会社の判断とする	

^{*}施設封鎖等の措置が発生した場合の業務・教育研究活動などは北見工業大学 BCP に従う。

【Stage 1:警戒段階、Stage 2:封じ込め努力段階、Stage 3:封鎖準備段階、Stage 4:封鎖段階】

^{*}大学施設封鎖等措置欄:措置段階は、学長、執行部、対策会議による情勢判断(人数、感染経路の追跡確認状況など)により決定。

新型コロナウイルス感染者の発生について (案)

本学学生(教職員)○名が新型コロナウイルスに感染していることが判明しました。 本件について、判明した事実及び本学の対応について、次のとおりお知らせします。

- 1. 本学の感染者について
- (1) 年代
- (2)性別
- (3)居住地
- (4)業種
- (5) 症状
- (6) 検査結果確定日

2. 経過について

- ・○月○日 学生(教職員)が発熱。自宅待機。
- ・○月○日 学生(教職員)の家族 1 人が PCR 検査の結果「陽性」。
- ・○月○日 学生(教職員)が濃厚接触者として PCR 検査を受検。検査結果「陽性」。
- 3. 接触者への対応について
 - ・○月○日以降、本学への立ち入りがないことを確認済み。
 - ・本学関係者に濃厚接触者はいないことを確認済み。

4. 本学における取組

本学においては、これまでも政府や北海道の対応方針等を踏まえ、新型コロナウイルス感染症対策会議を設置し、感染拡大防止のための各種取り組みを実施してきており、本学ホームページやメディア等を通じて、本学学生及び教職員のみならず、地域の皆さまへの周知に努めてきたところです。

本学としましては、引き続き、北見市や保健所等と連携し、感染拡大の防止に努めていく 所存です。

5. その他

感染した学生(教職員)及びご家族等の人権尊重・個人情報保護に関して、十分なご理解 とご配慮をお願いいたします。